

JP1 Cloud Service エンドポイント管理 利用ガイド

JCSM31-0220-01

前書き

■ 対象サービス

< V02-20 以降 >

● エンドポイント管理 - スタンダード

SD-527318233 JP1 Cloud Service/Endpoint Management - Standard 02-20 以降

● エンドポイント管理 - ライト A

SD-527318243 JP1 Cloud Service/Endpoint Management - Light A 02-20 以降

● エンドポイント管理 - ライト B

SD-527318253 JP1 Cloud Service/Endpoint Management - Light B 02-20 以降

● エンドポイント管理 - 管理用中継サーバ追加オプション

SD-527318263 JP1 Cloud Service/Endpoint Management - Additional Management Relay Server Option 02-20 以降

● エンドポイント管理 - 操作ログ拡張オプション

SD-527318273 JP1 Cloud Service/Endpoint Management - Extended Operation Log Option 02-20 以降

● エンドポイント管理 - 暗号化オプション

SD-527318283 JP1 Cloud Service/Endpoint Management - Data Encryption Option 02-20 以降

■ 輸出時の注意

本製品を輸出される場合には、外国為替及び外国貿易法の規制並びに米国輸出管理規則など外国の輸出関連法規をご確認の上、必要な手続きをお取りください。

なお、不明な場合は、弊社担当営業にお問い合わせください。

■ 商標類

記載の会社名、製品名などは、それぞれの会社の商標もしくは登録商標です。

■ マイクロソフト製品のスクリーンショットの使用について

マイクロソフトの許可を得て使用しています。

■ マイクロソフト製品の表記

このマニュアルでは、マイクロソフト製品の名称を次のように表記しています。

表記	正式名称
Microsoft Edge	Microsoft(R) Edge
Windows 10	Windows(R) 10 Home
	Windows(R) 10 Pro
	Windows(R) 10 Enterprise
Windows 11	Windows(R) 11 Home
	Windows(R) 11 Pro
	Windows(R) 11 Enterprise
Windows Server 2016	Microsoft(R) Windows Server(R) 2016 Datacenter
	Microsoft(R) Windows Server(R) 2016 Standard
Windows Server 2019	Microsoft(R) Windows Server(R) 2019 Datacenter
	Microsoft(R) Windows Server(R) 2019 Standard
Windows Server 2022	Microsoft(R) Windows Server(R) 2022 Datacenter
	Microsoft(R) Windows Server(R) 2022 Standard

■ 発行

2024 年 10 月 JCSM31-0220-01

■ 著作権

Copyright (C) 2024, Hitachi, Ltd.

Copyright (C) 2024, Hitachi Solutions, Ltd.

変更内容

変更内容 JP1 Cloud Service エンドポイント管理 V02-20

追加・変更内容	変更箇所
暗号化オプションにより、暗号化機能およびファイル保護機能を使用できるようになりました。これに伴い、暗号化機能およびファイル保護機能に関する記述を追加しました。	1.1, 1.2, 1.3.1, 2.1.3, 2.4, 3.9, 3.10

単なる誤字・脱字などはお断りなく訂正しました。

はじめに

このマニュアルはJP1 Cloud Service で提供する、エンドポイント管理の利用方法について説明したものです。

■ 対象読者

このマニュアルは次の方にお読みいただくことを前提に説明しています。

- JP1 Cloud Service / エンドポイント管理の導入を検討されている方
- JP1 Cloud Service / エンドポイント管理の概要や基本的な使い方を理解しようとしている方
- JP1 Cloud Service / エンドポイント管理を利用されているお客さまで、IT 資産の管理とセキュリティ対策の設計や運用をする方

■ マニュアルの構成

このマニュアルは、次に示す章と付録から構成されています。

第 1 章 エンドポイント管理の概要

エンドポイント管理の機能概要と特長，利用するための準備について説明しています。

第 2 章 エンドポイント管理を利用するための構築

エンドポイント管理を利用するための環境の構築について説明しています。

第 3 章 エンドポイント管理の利用方法

エンドポイント管理の基本的な操作方法について説明しています。

第 4 章 エンドポイント管理のポータルシステムの利用方法

エンドポイント管理のポータルシステムの基本的な操作方法について説明しています。

付録 A このマニュアルの参考情報

このマニュアルを読むに当たっての参考情報について説明しています。

付録 B 用語解説

このマニュアルでの用語について説明しています。

付録 C 各バージョンの変更内容

各バージョンの変更内容について説明しています。

■ マニュアルの読み方

このマニュアルでは、エンドポイント管理を利用するための準備、およびエンドポイント管理での基本的なシステムの管理、運用、操作の方法について説明しています。応用的な機能や操作を知りたい場合は、次の表を参考に、JP1/IT Desktop Management 2 または秘文のマニュアルをお読みください。

項番	利用目的	対象マニュアル
1	エンドポイント管理を利用したエンドポイント管理の設計方法の詳細を知りたい。	• JP1 Version 13 JP1/IT Desktop Management 2 導入・設計ガイド 導入・設計ガイド
2	エンドポイント管理を利用するための構築の詳細を知りたい。	• JP1 Version 13 JP1/IT Desktop Management 2 構築ガイド • 秘文 Endpoint Protection Service 基本ガイド（管理者用）
3	エンドポイント管理を利用した業務の運用例、操作方法の詳細を知りたい。	• JP1 Version 13 JP1/IT Desktop Management 2 運用ガイド • 秘文 管理者ガイド（運用編）
4	リモートインストールマネージャを使用した配布機能の機能詳細、運用方法、および操作方法について知りたい。	• JP1 Version 13 JP1/IT Desktop Management 2 配布機能 運用ガイド
5	エンドポイント管理で表示されるメッセージの原因や対処方法について知りたい。	• JP1 Version 13 JP1/IT Desktop Management 2 メッセージ • 秘文 メッセージガイド（管理者用） • 秘文 メッセージガイド（ユーザ用）
6	エンドポイント管理の持ち出し制御やデバイス制御などの詳細を知りたい。	• 秘文 管理者ガイド（機能解説編）
7	データの暗号化機能について詳細を知りたい。	• 秘文 管理者ガイド（機能解説編）
8	ファイルサーバ上の共有フォルダの暗号化について詳細を知りたい。	• 秘文 管理者ガイド（機能解説編）
9	エンドポイント管理の秘文クライアントのインストール媒体作成手順について知りたい。	• 秘文 セットアップガイド（管理者用）

目次

前書き	2
変更内容	4
はじめに	5

1	エンドポイント管理の概要	9
1.1	エンドポイント管理の特長	10
1.2	システム構成	11
1.3	エンドポイント管理の機能	12
1.3.1	提供機能	12
1.4	エンドポイント管理利用の準備	14
1.4.1	エンドポイント管理への接続	14
2	エンドポイント管理を利用するための構築	15
2.1	構築の流れ	16
2.1.1	運用管理コンピュータの構築の流れ	16
2.1.2	利用者コンピュータの構築の流れ	17
2.1.3	ファイルサーバの構築の流れ	17
2.2	運用管理コンピュータの構築	19
2.2.1	リモートインストールマネージャのインストール	19
2.2.2	パッケージのインストール	19
2.2.3	秘文管理ツールのインストール	20
2.3	利用者コンピュータの構築	21
2.3.1	インストールセットの作成	22
2.3.2	秘文インストール媒体の作成	22
2.3.3	エージェントのインストール	22
2.3.4	秘文クライアントのインストール	22
2.4	ファイルサーバの構築	24
2.4.1	エージェントのインストール	24
2.4.2	ファイルサーバのインストール	24
2.4.3	ファイルサーバの設定	25
3	エンドポイント管理の利用方法	26
3.1	システムの概況把握	27
3.2	機器の管理	28
3.3	機器のリモートコントロール	29

3.4	機器のネットワーク接続の管理	30
3.5	資産の管理	31
3.6	セキュリティの管理	32
3.7	操作ログの管理	33
3.8	ポリシーの反映	34
3.9	暗号化機能	35
3.10	ファイル保護機能	36

4 エンドポイント管理のポータルシステムの利用方法 37

4.1	ポータルシステムの概要	38
4.2	利用できる Web ブラウザ	39
4.3	ポータルシステムの利用方法	40
4.3.1	ログインとログアウト	40
4.3.2	ログインユーザーのパスワード変更	42
4.3.3	サーバー一覧の表示	43
4.3.4	操作ログの表示	45
4.3.5	製品媒体一覧の表示	46
4.3.6	マニュアル一覧の表示	48
4.3.7	提供ファイル一覧の表示	48
4.3.8	サポート情報一覧の表示	49
4.3.9	お知らせの表示	51
4.3.10	ライセンス情報の表示	51

付録 53

付録 A	このマニュアルの参考情報	54
付録 A.1	製品名の表記	54
付録 A.2	Windows 版と UNIX 版との差異	54
付録 B	用語解説	56
付録 C	各バージョンの変更内容	58
付録 C.1	02-20 の変更内容	58

索引 59

1

エンドポイント管理の概要

エンドポイント管理の機能概要と特長，利用するための準備について説明します。

1.1 エンドポイント管理の特長

エンドポイント管理は、多様化、複雑化するエンドポイントでの IT 資産やセキュリティの一元管理を SaaS 型サービスで提供することで、初期コストを抑えて効率よく運用できます。また、資産管理の現状の問題点を解決できるため、企業全体のコンプライアンス向上を実現します。

エンドポイント管理の特長を次に示します。

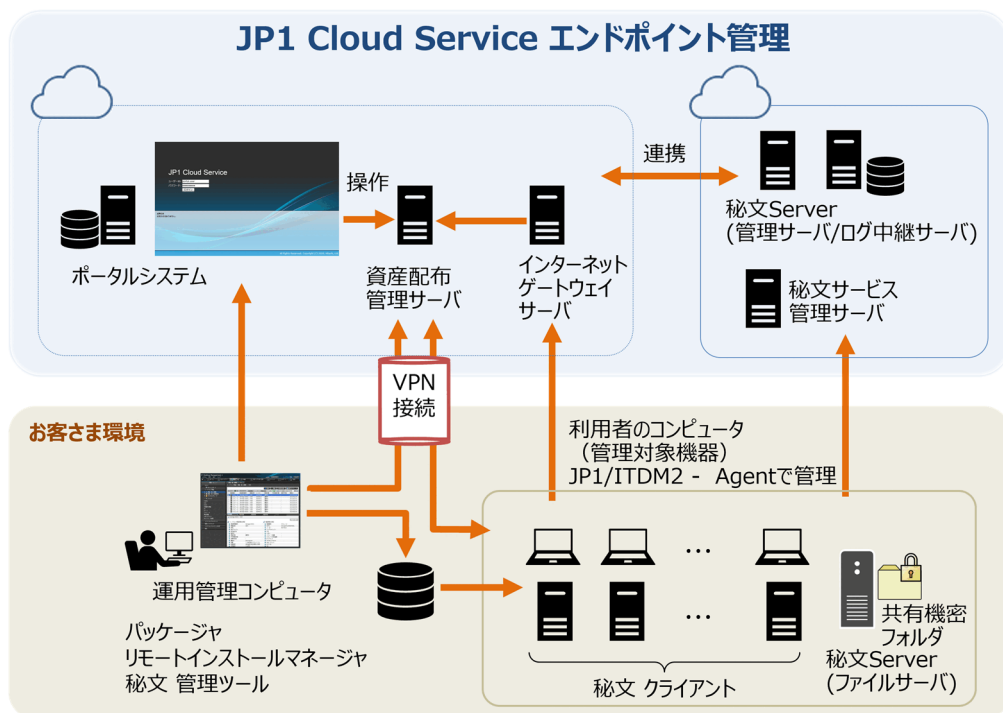
- IT 機器の現状の把握
- IT 機器に対するセキュリティのルールの徹底
- セキュリティに問題があるコンピュータの把握と対策
- IT 機器のネットワーク接続の監視
- ソフトウェアの導入と保守
- 操作ログの取得
- デバイスの使用制限
- 許可ネットワーク制御
- 持ち出し制御
- 暗号化機能
- ファイル保護機能

エンドポイント管理を利用すると、これらの特長によって、複雑な管理作業を簡素化できます。

1.2 システム構成

エンドポイント管理のシステム構成例を次に示します。

図 1-1 エンドポイント管理のシステム構成例



エンドポイント管理を利用する場合は、次の接続が必要です。

- お客さまの環境と、資産配布管理サーバを VPN や専用線などで接続してください。
- エンドポイント管理のポータルシステムへの接続、利用者のコンピュータからの資産配布管理サーバへの接続、および秘文 Server への接続は、インターネットを使用して接続します。

この利用ガイドでは、上記接続が完了しているという前提で後続の作業を説明します。

1.3 エンドポイント管理の機能

1.3.1 提供機能

エンドポイント管理が提供する機能の概要は次のとおりです。

表 1-1 エンドポイント管理の機能一覧

項番	機能	機能概要
1	システムの概況把握	大量の管理情報に対して管理者が状況を把握するためのホーム画面とダッシュボードから、さまざまな観点で、運用状況を把握できます。 機能の利用方法については、「 3.1 システムの概況把握 」を参照してください。
2	機器の管理	管理対象にした組織内の機器の情報を収集して確認したり、電源状態を把握して制御したりできます。 機能の利用方法については、「 3.2 機器の管理 」を参照してください。
3	機器のリモートコントロール	コントローラから利用者のコンピュータの画面を呼び出して遠隔操作できます。 機能の利用方法については、「 3.3 機器のリモートコントロール 」を参照してください。
4	機器のネットワーク接続の管理	ネットワークを監視して、未許可の機器のネットワーク接続を防いだり、危険なコンピュータを自動的にネットワークから切断したりできます。 機能の利用方法については、「 3.4 機器のネットワーク接続の管理 」を参照してください。
5	資産の管理	組織が所有するハードウェア資産やソフトウェアライセンスを登録して、運用状況を管理できます。 機能の利用方法については、「 3.5 資産の管理 」を参照してください。
6	セキュリティの管理	セキュリティポリシーを作成し、コンピュータに適用することで、セキュリティ状況を判定します。また、セキュリティ上問題があるコンピュータを自動対策することもできます。 機能の利用方法については、「 3.6 セキュリティの管理 」を参照してください。
7	操作ログの管理	利用者がコンピュータ上で操作した履歴を、操作ログとして収集する機能です。収集した操作ログは、操作画面から一覧で確認できます。 機能の利用方法については、「 3.7 操作ログの管理 」を参照してください。
8	ポリシー（持ち出し/読み込み制御、デバイス制御、および許可ネットワーク制御）の反映	PC からのデータの持ち出し、PC へのデータの読み込み、デバイスの使用、および PC のネットワークへの接続を制御する機能です。この機能によって、不正な持ち出しと読み込みを防止することができます。 機能の利用方法については、「 3.8 ポリシーの反映 」を参照してください。
9	暗号化機能	管理対象機器のローカルドライブ、ファイルを暗号化します。PC やメディアの紛失・盗難時の情報漏洩を防止することができます。 機能の利用方法については、「 3.9 暗号化機能 」を参照してください。
10	ファイル保護機能	機密データ（保護対象ファイル）に対して、マルウェアなどの不正なプログラムによる情報窃取や破壊を防止する機能です。

項番	機能	機能概要
10	ファイル保護機能	機能の利用方法については、「 3.10 ファイル保護機能 」を参照してください。

このバージョンでは、JP1/ITDM2、秘文ともに従来の機能をそのまま使用するため、次の注意事項があります。

注意事項

- JP1/ITDM2 と秘文で同じ情報漏えい対策機能を使用すると、同一の操作ログが重複して操作ログ一覧画面に表示されることがあります。
- JP1/ITDM2 の次の操作ログを使用する場合は、秘文のファイル・ドライブ操作ログは使用しないでください。
 - ・ ファイル操作/印刷操作
 - ・ フォルダ操作不審操作の取得
 - ・ 添付ファイル付きメールの送受信
 - ・ Web/FTP サーバの使用
 - ・ 外部メディア（リムーバブルディスク）へのファイルコピーと移動
- JP1/ITDM2 の操作ログのポリシーである「情報漏えいに係わりの深い操作を取得対象にする（推奨）」を使用する場合は、秘文のファイル・ドライブ操作ログは使用しないでください。
- 秘文で印刷抑止を実施している場合は、JP1/ITDM2 の印刷ログは取得できません。
- 秘文で印刷抑止を実施している場合は、JP1/ITDM2 による印刷抑止はできません。

1.4 エンドポイント管理利用の準備

エンドポイント管理の利用を開始するために、必要な準備について説明します。

1.4.1 エンドポイント管理への接続

エンドポイント管理で利用するポート番号の一覧は、ご利用環境情報でお知らせする接続情報を参照してください。必要なポートの設定を実施し、お客さま拠点とシステム管理との間で通信ができるようにしてください。

2

エンドポイント管理を利用するための構築

エンドポイント管理を利用してセキュリティ管理や資産管理の観点から IT 機器の管理を始めるために、まずは利用するための環境の構築をしましょう。この章では、エンドポイント管理の利用に必要な環境を構築する方法を説明します。

2.1 構築の流れ

エンドポイント管理の利用に必要な環境を構築し、利用を開始するまでの流れを次に示します。

❗ 重要

構築に必要な製品媒体は、エンドポイント管理のポータルシステムからダウンロードできます。

サービスポータルでの製品媒体のダウンロードについては、「[4.3.5 製品媒体一覧の表示](#)」を参照してください。

2.1.1 運用管理コンピュータの構築の流れ

運用管理コンピュータの構築の流れを次に示します。

それぞれのサービスプランで実施する作業は、次のとおりです。

- 「スタンダード」の場合
すべて実施してください。
- 「ライト A」の場合
秘文管理ツールのインストールは不要です。
[図 2-1](#) の 1～3 を実施してください。
- 「ライト B」の場合
リモートインストールマネージャとパッケージのインストールは不要です。
[図 2-1](#) の 1 と 4 を実施してください。

図 2-1 運用管理コンピュータの構築の流れ



2.1.2 利用者コンピュータの構築の流れ

利用者コンピュータの構築の流れを次に示します。

それぞれのサービスプランで実施する作業は、次のとおりです。

- 「スタンダード」の場合
すべて実施してください。
- 「ライト A」の場合
秘文インストール媒体の作成および秘文クライアントのインストールは不要です。
図 2-2 の 1 と 3 を実施してください。
- 「ライト B」の場合
すべて実施してください。

図 2-2 利用者コンピュータの構築の流れ

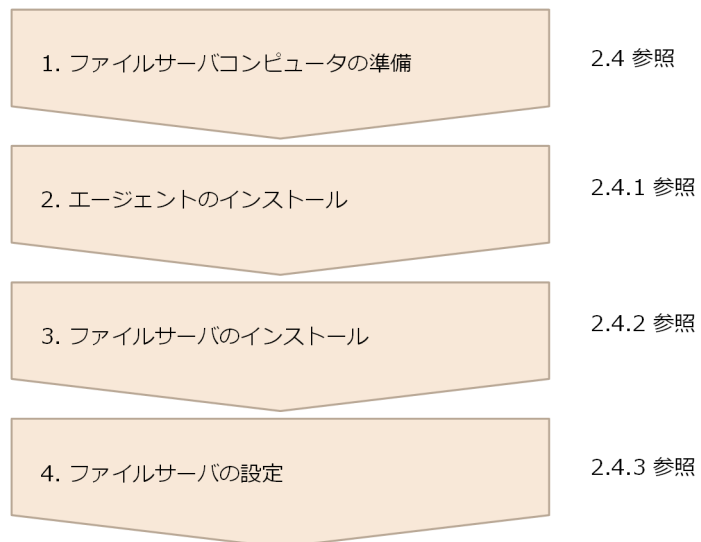


2.1.3 ファイルサーバの構築の流れ

サービスプランが「スタンダード」または「プラン B」の場合で、かつ暗号化オプションをご契約されている場合は、暗号化機能およびファイル保護機能を使用できます。共有フォルダの暗号化機能を使用する場合はファイルサーバを構築してください。共有フォルダの暗号化機能を使用しない場合は、ファイルサーバの構築は不要です。なお、サービスプラン「ライト A」には暗号化オプションを提供していないため共有フォルダの暗号化機能は使用できません。

ファイルサーバの構築の流れを次に示します。

図 2-3 ファイルサーバの構築の流れ



2.2 運用管理コンピュータの構築

運用管理者が使用する次の条件を満たしているコンピュータを準備してください。

適用 OS のバージョンの詳細は、JP1/IT Desktop Management 2 および秘文のリリースノートで確認してください。

表 2-1 運用管理コンピュータに必要な条件

項目	内容
OS	次のどれかの OS がインストールされていることが前提です。 <ul style="list-style-type: none">• Windows 10• Windows 11• Windows Server 2016• Windows Server 2019• Windows Server 2022
CPU	2GHz 以上
メモリ	2GB 以上
ディスクの空き容量	200MB 以上
ブラウザ	次のどれかのブラウザがインストールされていることが前提です。 <ul style="list-style-type: none">• Microsoft Edge• Google Chrome

2.2.1 リモートインストールマネージャのインストール

運用管理コンピュータを使用して資産配布管理サーバから利用者のコンピュータへ、ネットワークを経由してソフトウェアおよびファイルを一括で配布するには、Remote Install Manager を使用します。

JP1 のマニュアル「JP1 Version 13 資産・配布管理 基本ガイド」での、「JP1/IT Desktop Management 2 - Manager をインストールする」を参照し、管理者の端末に Remote Install Manager をインストールしてください。

2.2.2 パッケージのインストール

リモートインストールするソフトウェアを、管理用サーバに登録するには、パッケージを使用します。

JP1 のマニュアル「JP1 Version 13 資産・配布管理 基本ガイド」での、「JP1/IT Desktop Management 2 - Agent をインストールする」を参照し、管理者の端末にパッケージをインストールしてください。

2.2.3 秘文管理ツールのインストール

ポリシーの設定、インストール媒体の作成などの秘文の各設定をするには、秘文管理ツール（秘文マネージャ、インストール媒体作成ツール）を使用します。

秘文サービスのマニュアル「秘文 Endpoint Protection Service 基本ガイド（管理者用）」での、「秘文管理ツールのインストール」を参照し、管理者の端末に秘文管理ツールをインストールしてください。

2.3 利用者コンピュータの構築

利用者のコンピュータ（管理対象機器）を管理するための、インストールセット（JP1/IT Desktop Management 2 - Agent のプログラムと、プログラムのセットアップ情報を含んだファイル）および秘文インストール媒体ファイルを作成して、配布します。

適用 OS のバージョンの詳細については JP1/IT Desktop Management 2 および秘文のリリースノートで確認してください。

利用者のコンピュータの前提となる OS を次の表に示します。

表 2-2 利用者コンピュータの前提となる OS

OS	内容
Windows	<ul style="list-style-type: none">• Windows 10• Windows 11• Windows Server 2016• Windows Server 2019• Windows Server 2022
Linux	<ul style="list-style-type: none">• Red Hat Enterprise Linux Server• Oracle Linux
UNIX	<ul style="list-style-type: none">• AIX• Solaris• HP-UX
Mac	<ul style="list-style-type: none">• Mac OS
スマートデバイスの OS※	<ul style="list-style-type: none">• iOS• iPadOS• Android

注※

スマートデバイスを管理するためには、Microsoft Intune が必要です。

❗ 重要

OS ごとに機能差異があります。

- JP1 のマニュアル「JP1/IT Desktop Management 2 導入・設計ガイド」での、「Windows エージェント、UNIX エージェント、Mac エージェントの機能差異」を参照してください。
- 持ち出し/読み込み制御、デバイス制御、および許可ネットワーク制御ができるのは、Windows のクライアント OS だけです。

2.3.1 インストールセットの作成

利用者のコンピュータに JP1/IT Desktop Management 2 - Agent をインストールすると、そのコンピュータのハードウェア情報、ソフトウェア情報、利用者情報などを管理できるようになります。

JP1 のマニュアル「JP1 Version 13 資産・配布管理 基本ガイド」での、「JP1/IT Desktop Management 2 - Agent をインストールする」を参照し、利用者のコンピュータへのインストールの準備をしてください。

2.3.2 秘文インストール媒体の作成

管理対象機器にインストールするための、インストール媒体を作成します。

秘文サービスのマニュアル「秘文 Endpoint Protection Service 基本ガイド（管理者用）」での、「インストール媒体の作成」を参照し、インストール媒体を作成してください。

2.3.3 エージェントのインストール

利用者のコンピュータを管理するために、JP1/IT Desktop Management 2 - Agent を利用者のコンピュータにインストールします。

(1) Windows の場合

JP1/IT Desktop Management 2 - Agent のインストールについては、JP1 のマニュアル「資産・配布管理 基本ガイド」での「JP1/IT Desktop Management 2 - Agent をインストールする」を参照し、インストールしてください。

(2) UNIX または Mac の場合

JP1/IT Desktop Management 2 - Agent のインストールについては、JP1 のマニュアル「JP1/IT Desktop Management 2 - Agent (UNIX(R)用)」での「インストール」を参照し、インストールしてください。

2.3.4 秘文クライアントのインストール

秘文クライアントをインストールすると、PC からのデータの持ち出し、PC へのデータの読み込み、デバイスの使用、および接続するネットワークを制御できます。USB メモリなどのリムーバブルメディアへの持ち出し、USB メモリなどのリムーバブルメディアからの読み込み、ネットワーク上のフォルダへの持ち出し、印刷、デバイスの使用、ネットワークの接続などを禁止できます。また、これらの持ち出しと読み込み行為をログとして取得し、ログ中継サーバに送信します。

秘文サービスのマニュアル「秘文 Endpoint Protection Service 基本ガイド（管理者用）」での、「秘文クライアントの新規インストール手順」を参照し、管理者の端末に秘文クライアントをインストールしてください。

2.4 ファイルサーバの構築

ファイルサーバとして次の条件を満たしているコンピュータを準備してください。

適用 OS のバージョンの詳細は、秘文のリリースノートで確認してください。

表 2-3 ファイルサーバに必要な条件

項目	内容
OS	次のどれかの日本語版 OS がインストールされていることが前提です。 <ul style="list-style-type: none">• Windows Server 2016^{※1}• Windows Server 2019^{※1}• Windows Server 2022^{※1}
CPU	2GHz 以上
メモリ	4GB 以上
ハードディスク (インストール時)	55MB の空き容量
ハードディスク (運用時)	1GB 以上の空き容量
ネットワーク	<ul style="list-style-type: none">• TCP/IP および Microsoft Network サービスがインストールされていて、かつサーバに IPv4 形式の固定 IP アドレスが設定されていることが前提です。なお、IPv6 形式のアドレスだけが設定されたネットワーク環境には対応していません。• 秘文サービスの URL (https://hibun-sv.hitachi-solutions.co.jp/) へアクセスできることが前提です。^{※2}

注※1

Server Core および Nano Server の構成には対応していません。

注※2

秘文サービスの URL (<https://hibun-sv.hitachi-solutions.co.jp/>) へのアクセスは次のどちらかとなるように、必要に応じてネットワーク環境（プロキシやファイアウォールなどの設定）を変更してください。

- プロキシを経由しないで直接アクセスできる。
- PAC ファイルを指定していない場合は、複数プロキシではないプロキシを経由してアクセスできる。

2.4.1 エージェントのインストール

利用者のコンピュータを管理するために、JP1/IT Desktop Management 2 - Agent を利用者のコンピュータにインストールします。2.3.3 エージェントのインストールを参照してください。

2.4.2 ファイルサーバのインストール

コンピュータにファイルサーバをインストールします。

ファイルサーバの構築については、秘文サービスのマニュアル「秘文 Endpoint Protection Service 基本ガイド（管理者用）」での、「ファイルサーバのインストールと設定」を参照し、管理対象機器にファイルサーバをインストールしてください

2.4.3 ファイルサーバの設定

ファイルサーバで共有機密フォルダ（共有フォルダの暗号化）として登録するフォルダを設定します。

詳細については、秘文サービスのマニュアル「秘文 Endpoint Protection Service 基本ガイド（管理者用）」での、「ファイルサーバのインストールと設定」を参照してください。

3

エンドポイント管理の利用方法

エンドポイント管理を利用して、コンピュータやデバイス機器の管理をする場合の設定について説明します。

3.1 システムの概況把握

IT 機器のセキュリティ管理を徹底するためには、ルールを適用する機器をすべて把握しておく必要があります。また、IT 機器を組織内の資産として管理するためには、使用しているハードウェア、ソフトウェアは何かという情報とそれらが今どのような状態になっているかを把握しておく必要があります。

大量の管理情報に対して管理者が状況を把握するためのホーム画面とダッシュボードを使用して概況を把握し、確認したい内容のリンクをたどることで詳細情報を確認します。

JP1 のマニュアル「JP1/IT Desktop Management 2 導入・設計ガイド」での、「システムの概況表示」で詳細情報を確認してください。

3.2 機器の管理

組織内のネットワークには、コンピュータやサーバ、プリンタ、ネットワーク装置など、さまざまな機器が接続されています。組織内の機器の状況を把握し、セキュリティ管理や資産管理を始めるためには、まず、組織内の機器を JP1/IT Desktop Management 2 の管理対象にします。

JP1 のマニュアル「JP1/IT Desktop Management 2 導入・設計ガイド」での、「機器の管理」で管理できる情報を設定してください。

3.3 機器のリモートコントロール

リモートコントロール機能を利用すると、管理者の手もとのコンピュータから問題の発生したコンピュータを遠隔操作して、操作内容を共有したり、データを送受信したりして問題に速やかに対応できます。

JP1 のマニュアル「JP1/IT Desktop Management 2 導入・設計ガイド」での、「機器のリモートコントロール」で管理できる情報を設定してください。

3.4 機器のネットワーク接続の管理

無線 LAN やモバイルコンピュータの普及に伴い利便性が向上してきたことで、組織の従業員または組織外の人によって個人が使用するコンピュータが意図的に持ち込まれ、容易に組織内のネットワークに接続されるおそれがあります。セキュリティ対策がされていない機器がネットワーク接続することによるウィルス感染や、機密情報の不正持ち出しといった被害を防ぐためには、ネットワーク接続されている機器を把握して管理します。

JP1 のマニュアル「JP1/IT Desktop Management 2 導入・設計ガイド」での、「機器のネットワーク接続の管理」で管理できる情報を設定してください。

3.5 資産の管理

組織内で管理している機器，ソフトウェアライセンス，契約などの資産情報をまとめて管理できます。

各資産を一覧化して台帳のように管理できるほか，資産情報同士の関係を定義することで，機器に対して結んでいる契約を即座に把握したり，ソフトウェアライセンスの利用状況を把握したりできるため，資産管理業務の効率化を図ることができます。

JP1 のマニュアル「JP1/IT Desktop Management 2 導入・設計ガイド」での，「資産の管理」で管理できる情報を設定してください。

3.6 セキュリティの管理

組織内のセキュリティ状況を安全に保つためには、ウィルス対策製品の未インストール、ファイル共有ソフトウェアのインストール、OS セキュリティ設定の不備など、多くの要素に対するセキュリティのルールを決め、そのルールを各コンピュータの利用者に遵守させる必要があります。また、セキュリティの現状を把握して、問題点を適宜対策することも必要です。

組織内のセキュリティのルールを「セキュリティポリシー」として設定し、それらを各コンピュータに適用することで、問題点を発見して管理者に通知したり、自動的に対策したりできます。

なお、UNIX エージェントは、セキュリティポリシーによるセキュリティ状況の判定やセキュリティ上の問題点の自動対策の対象外です。Mac エージェントは、セキュリティ上の問題点の自動対策の対象外です。

JP1 のマニュアル「JP1/IT Desktop Management 2 導入・設計ガイド」での、「セキュリティの管理」を参照し、セキュリティ管理に関するさまざまな設定をしてください。

3.7 操作ログの管理

セキュリティポリシーに操作ログの取得を設定して、対象のコンピュータにセキュリティポリシーを割り当てると、対象のコンピュータから操作ログを取得できます。

取得する操作ログの種類は、セキュリティポリシーの設定で変更できます。不審操作を検知するかどうか、セキュリティポリシーの設定で変更できます。

なお、UNIX エージェント、Mac エージェントは、操作ログ収集の対象外です。

JP1 のマニュアル「JP1/IT Desktop Management 2 導入・設計ガイド」での、「操作ログの管理」を参照し、操作ログの設定をしてください。

3.8 ポリシーの反映

持ち出し制御/読み込み制御，デバイス制御，および許可ネットワークの制御をするには，そのポリシーを反映したインストール媒体を作成し，利用者のコンピュータ（管理対象機器）にインストールする必要があります。

なお，ポリシーを変更する場合は，ポリシーを変更したインストール媒体を作成し，上書きインストールする必要があります。

秘文のマニュアル「秘文 セットアップガイド（管理者用）」での，「インストール媒体の作成（パラメータシートからの読み込み）」，または，「インストール媒体の作成（画面入力による詳細設定）」を参考に，インストール媒体を作成してください。

3.9 暗号化機能

指定した管理対象機器のローカルドライブ、管理対象機器から持ち出すファイル、およびファイルサーバ上で保存するファイルを暗号化できます。

詳細は秘文のマニュアル「秘文 管理者ガイド（機能解説編）」での、「暗号化機能」を参照してください。

3.10 ファイル保護機能

機密データ（保護対象ファイル）に対して、マルウェアなどの不正なプログラムによる情報窃取や破壊を防止する機能です。

詳細は秘文のマニュアル「秘文 管理者ガイド（機能解説編）」での、「秘文 DE の暗号ファイル保護機能」を参照してください。

4

エンドポイント管理のポータルシステムの利用方法

エンドポイント管理のポータルシステムの利用方法について説明します。ポータルシステムでは、エンドポイント管理のサービス利用での定型作業を支援し、運用作業を効率化する機能を提供します。

4.1 ポータルシステムの概要

ポータルシステムで提供する機能の一覧を次に示します。

表 4-1 ポータルシステムの機能一覧

機能	説明
ログインとログアウト	不正なユーザーによるアクセスを防止するために、ログイン認証します。
ログインユーザーのパスワード変更	ログインしているポータルのユーザーのパスワードを変更できます。
サーバー一覧の表示	サービスの利用者が利用できるサービスの管理画面の一覧を表示します。クリックすると、それぞれの管理画面に連携します。 <ul style="list-style-type: none">JP1/ITDM2 Manager へのリンク秘文管理コンソールのリンク
操作ログの表示	サービスの利用者が参照できる操作ログをダウンロードできます。
製品媒体一覧の表示	サービスの利用者がダウンロードできる製品媒体の一覧を表示できます。
マニュアル一覧の表示	サービスの利用者が利用できるサービスに関連する製品マニュアル、取扱説明書、利用ガイドなどのマニュアルドキュメントを表示できます。
提供ファイル一覧の表示	サービスの利用者が利用できるサービスに関連する設定ファイルやツールなどのファイルを表示できます。
サポート情報一覧の表示	サービスの障害回避・予防に関する情報や注意喚起情報などのサポート情報を確認できます。
お知らせの表示	サービス提供者からのお知らせを表示できます。
ライセンス情報の表示	ログインしているアカウントにひもづく契約に基づいたライセンス情報を表示します。

4.2 利用できる Web ブラウザ

ポータルシステムを利用できる Web ブラウザを次に示します。

- Google Chrome
- Microsoft Edge

4.3 ポータルシステムの利用方法

ポータルシステムの利用方法について説明します。

4.3.1 ログインとログアウト

(1) ログイン手順

ログインする手順を次に示します。

1. Web ブラウザを起動して、ポータルシステムの URL にアクセスします。

ポータルシステムの URL や、初期提供されるユーザー ID、ユーザーの初期パスワードは、ご利用環境情報でお知らせする接続情報でご確認ください。

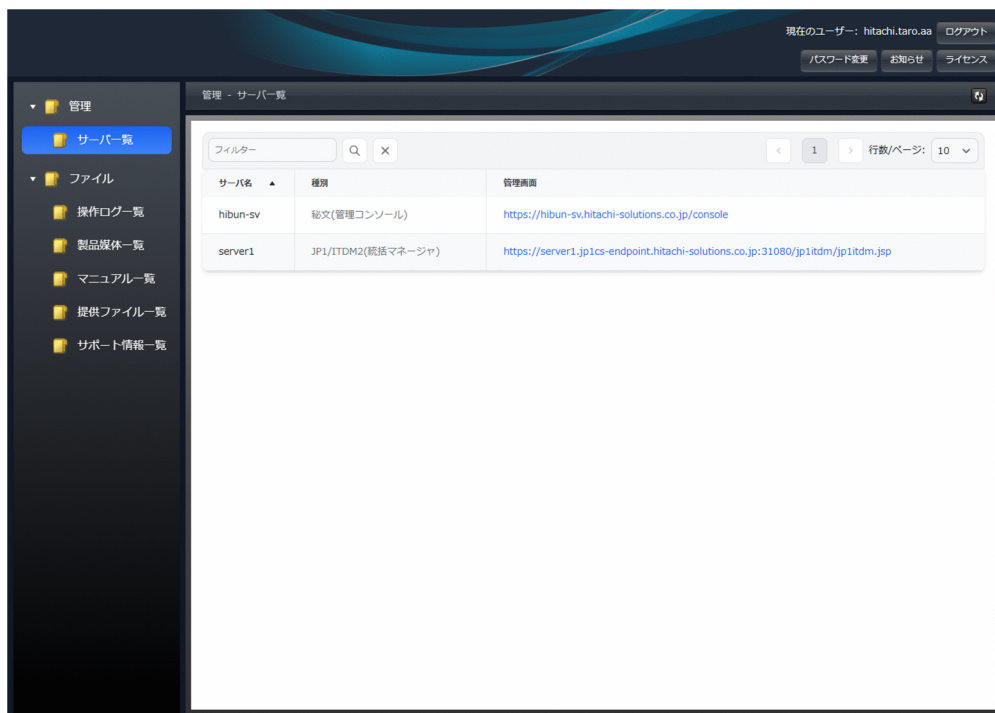


ログイン画面に表示する各エリアの説明を次に示します。

項目	説明
通知エリア	システムメンテナンスによるサービス停止など、サービス提供元からのお知らせが表示されます。
エラー詳細エリア	ログイン画面を表示した直後はこのエリアは表示されません。 ログインに失敗したときにこのエリアが表示され、エラーの詳細が表示されます。

2. ログインに成功すると、次のメイン画面が表示されます。

ログインに成功すると、メイン画面が表示されます。



画面	説明
共通	<p>画面上部で共通の次の機能を提供します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ログインユーザーの情報表示（「現在のユーザー」で示されたユーザー ID） ログインユーザーのパスワード変更（[パスワード変更] ボタン） お知らせの表示（[お知らせ] ボタン） ライセンスの表示（[ライセンス] ボタン） ログアウト（[ログアウト] ボタン）
管理	<p>エンドポイント管理で管理するサーバの情報を提供します。</p> <p>JP1/ITDM2（統括マネージャ）、JP1/ITDM2（中継マネージャ）および秘文（管理コンソール）のサーバー一覧を表示します。</p>
ファイル	<p>次のファイルを提供します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 操作ログ一覧 サービスの利用者が参照できる操作ログの一覧を表示します。 製品媒体一覧 サービスの利用者が利用できる製品媒体の一覧を表示します。 マニュアル一覧 サービスの利用者が利用できるマニュアルの一覧を表示します。 提供ファイル一覧 サービスの利用者が利用できる提供ファイルの一覧を表示します。 サポート情報一覧 サービスの利用者が利用できるサポート情報の一覧を表示します。

特定回数連続してパスワード入力不正によるログインエラーが続いた場合、当該ユーザー ID を一定時間ロックアウトします。

ロックアウトしきい値は 10 回で、ロックアウト時間は 30 分です。

(2) ログアウト手順

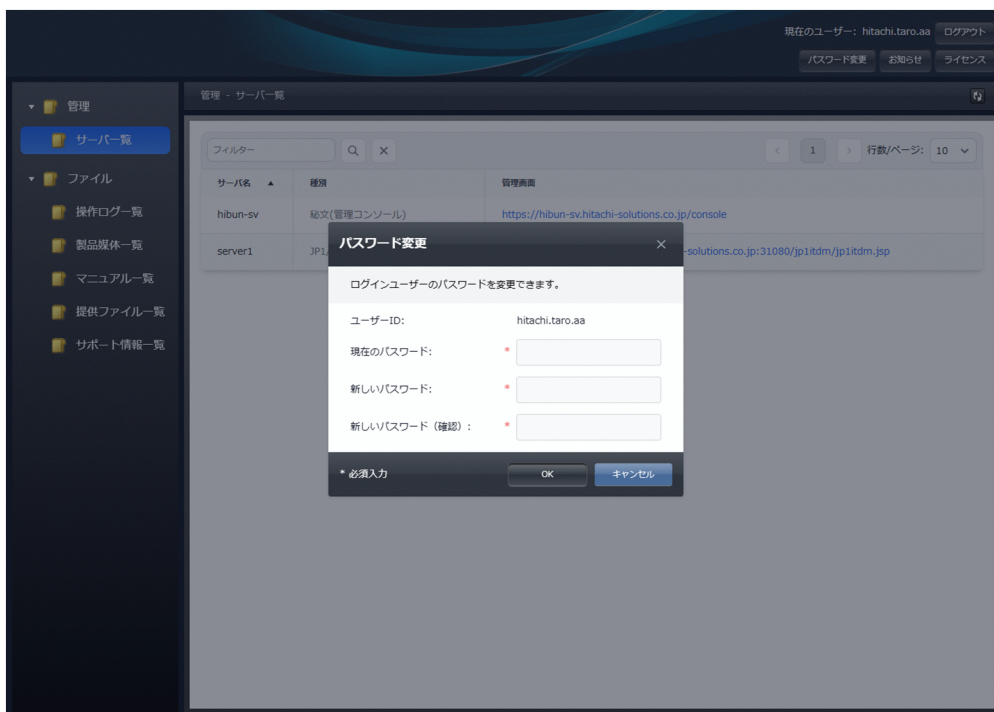
ログアウトする場合は、メイン画面の右上の［ログアウト］ボタンをクリックします。ログアウトすると、ログイン画面が表示されます。

「サーバー一覧」から表示した JP1/ITDM2 の管理画面および秘文サービス管理ページは、それぞれの画面で個別にログアウトしてください。連動はしません。

4.3.2 ログインユーザーのパスワード変更

ログインユーザーのパスワード変更は、メイン画面の右上の［パスワード変更］ボタンから行います。［パスワード変更］ボタンをクリックすると表示される次のダイアログから変更を実施してください。

入力項目には 8～128 バイトの任意文字列（半角英数字および記号）を指定可能です。



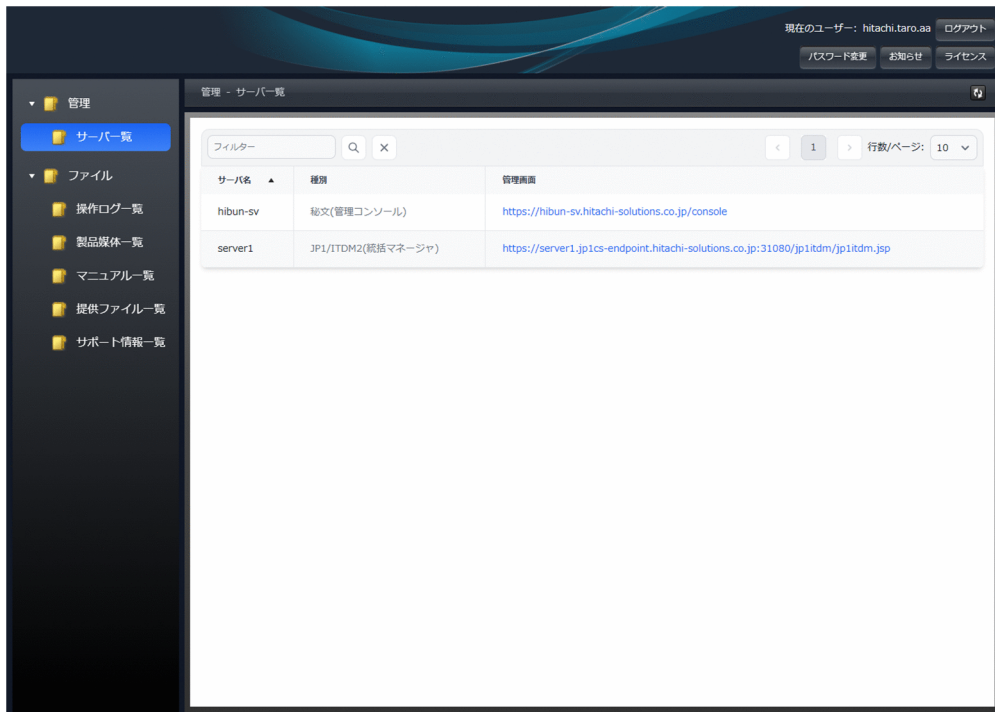
新しいパスワードは、次のパスワードポリシーを満たしている必要があります。

- 8 文字以上 128 文字以下
- 半角英数字または次に示す記号
!, ", #, \$, %, &, ', (,), *, +, , (コンマ), -, . (ピリオド), /, :, ;, <, =, >, ?, @, [, ¥,], ^, _, ` , {, |, }, ~, および半角スペース
- 2 種類以上の文字の組み合わせ
- ユーザー ID と異なる文字列
- 現在のパスワードと異なる文字列

4.3.3 サーバー一覧の表示

サービスの利用者が利用できるサービスの管理画面の一覧を表示します。

管理したいサーバー一覧の種別を選択し、管理画面 URL をクリックすると、それぞれの管理画面が表示されます。

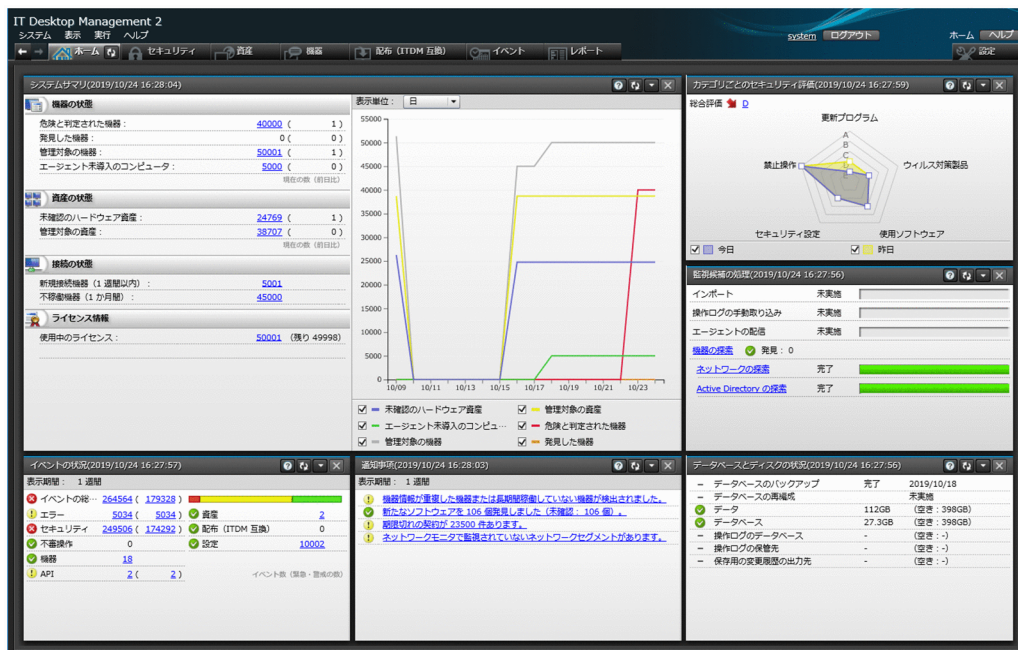


サーバー一覧画面に表示する項目と説明を次に示します。

項目	説明
サーバ名	利用できるサーバの名称が表示されます。
種別	サーバの種別が表示されます。 JP1/ITDM2（統括マネージャ） 複数サーバ構成の最上位に設置されたサーバのことです。 JP1/ITDM2（中継マネージャ） JP1/IT Desktop Management 2 - Manager を管理用中継サーバとして設定したサーバのことです。 管理用中継サーバ追加オプションを契約されている場合に 표시됩니다。 秘文（管理コンソール） 秘文サービス管理ページのことです。 次のプランを契約されている場合に 표시됩니다。 <ul style="list-style-type: none">・スタンダード・ライト B
管理画面	サーバの URL が表示されます。

(1) JP1/ITDM2 (統括マネージャ)

管理画面で表示されている URL をクリックすると、JP1/IT Desktop Management 2 で管理している情報の概況を各パネルで確認できます。



管理している最新情報を基に、日々の運用で把握しておく必要がある内容が表示されます。各項目をクリックすることで、詳細な情報を確認できる画面を表示できます。

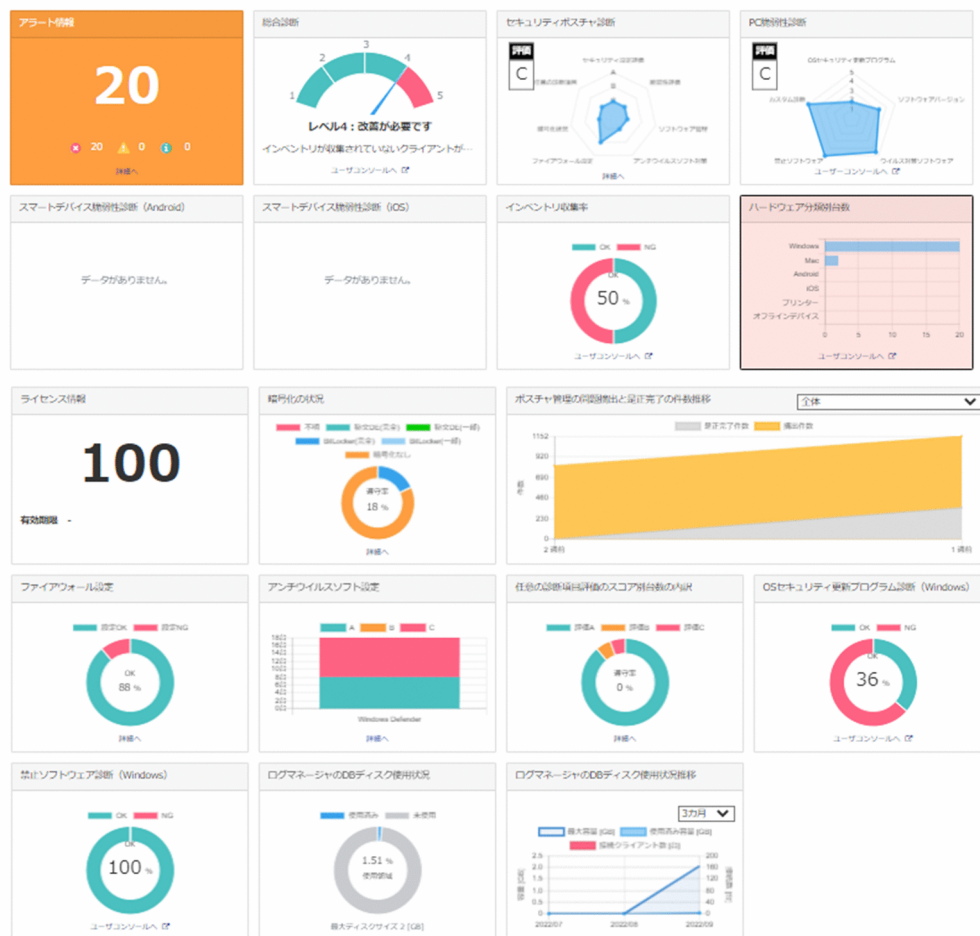
(2) JP1/ITDM2 (中継マネージャ)

管理画面で表示されている URL をクリックすると、中継マネージャの JP1/IT Desktop Management 2 で管理している情報の概況を各パネルで確認できます。

管理用中継サーバ追加オプションを契約されている場合に表示されます。

(3) 秘文 (管理コンソール)

管理画面で表示されている URL をクリックすると、ダッシュボード画面が表示されます。

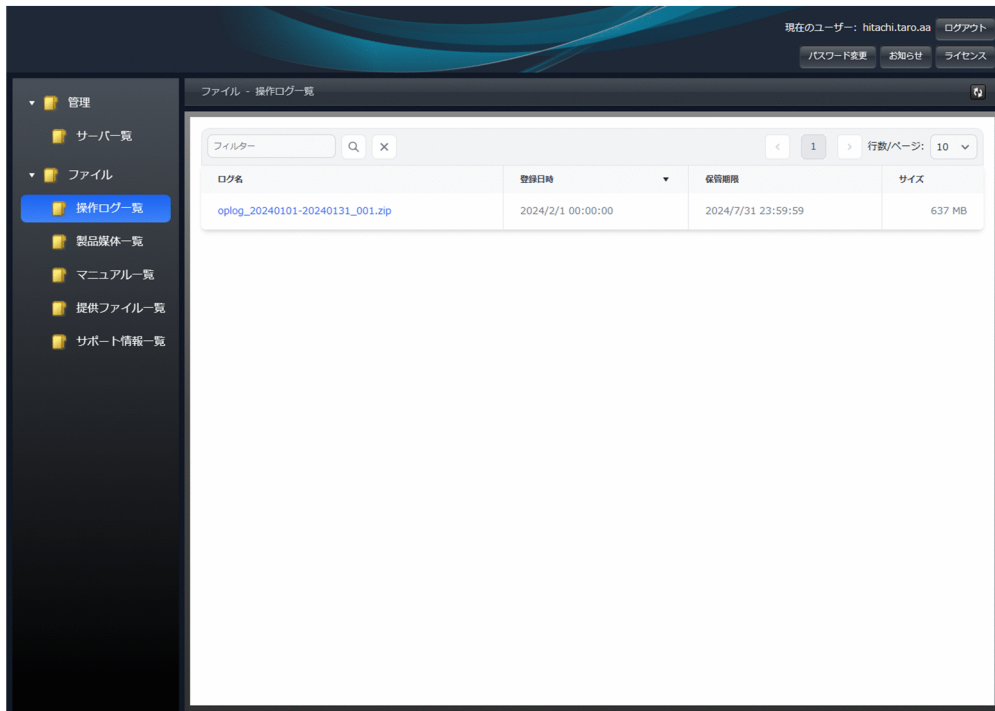


ダッシュボードの詳細な内容については、秘文サービスのマニュアル「秘文 Endpoint Protection Service 基本ガイド(管理者用)」での、「サービス管理ページにログインする」を参照してください。

4.3.4 操作ログの表示

サービスの利用者が参照できる操作ログをダウンロードできます。

[ファイル] - [操作ログ一覧] のログ一覧画面から、操作ログの内容表示およびダウンロードができます。



操作ログ一覧画面に表示する項目と説明を次に示します。

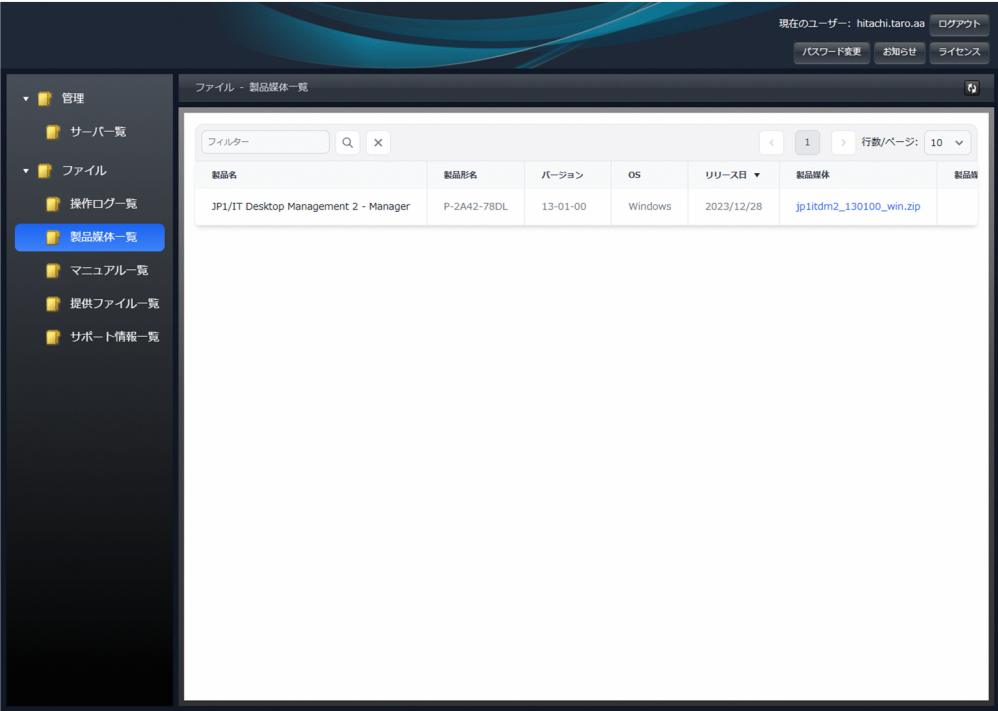
項目	説明
ログ名	JP1/ITDM2 の操作ログファイルのファイル名称が表示されます。ファイル名称のリンクをクリックすると、ダウンロードすることができます。 ログファイル名称 oplog_YYYYMMDD-yyyyymmdd_NNN.zip YYYYMMDD：zip に含まれる操作ログの開始日 yyyyymmdd：zip に含まれる操作ログの最終日 NNN：001～999 の連番
登録日時	JP1/ITDM2 の操作ログの圧縮ファイルが登録された日時が「YYYY/MM/DD hh:mm:ss」形式で表示されます。
保管期限	操作ログをポータルに保管する期限が「YYYY/MM/DD hh:mm:ss」形式で表示されます。
サイズ	ログファイルのサイズが「KB/MB/GB」の形式で表示されます。

フィルターに条件を設定すると、一覧の絞り込み検索ができます。

4.3.5 製品媒体一覧の表示

サービスの利用者が利用できる製品媒体に付属するドキュメント（リリースノートなど）が一覧で表示されます。

[ファイル]－[製品媒体]の製品媒体のファイル名をクリックすると、対象の製品媒体がダウンロードできます。また、ドキュメント名をクリックすると付属ドキュメント（リリースノートなど）をダウンロードできます。



製品媒体一覧画面に表示する項目と説明を次に示します。

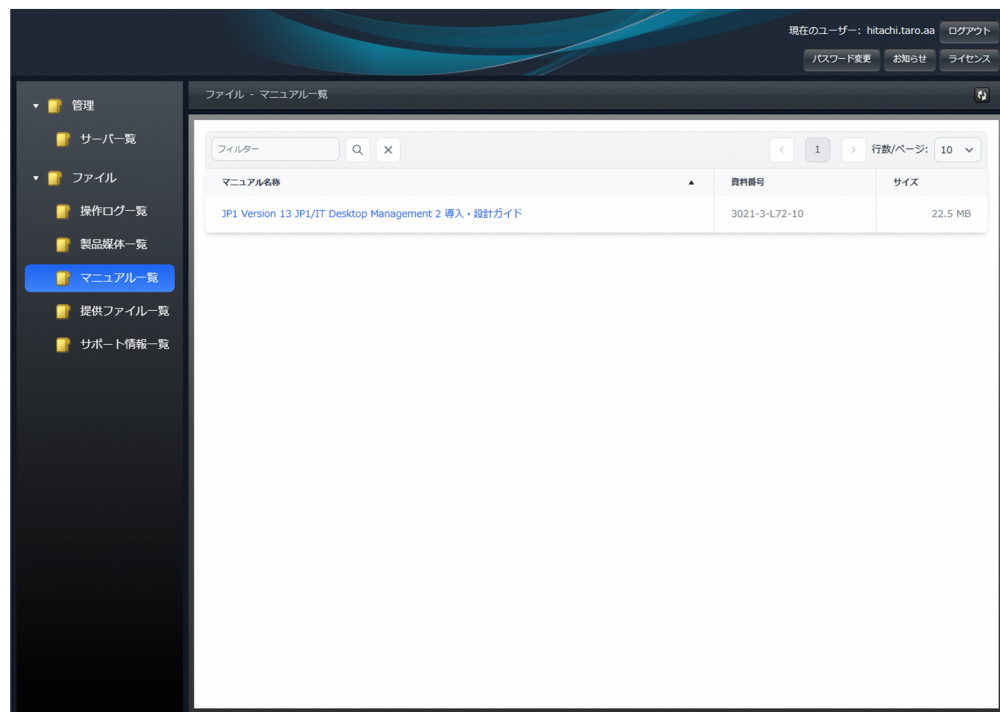
項目	説明
製品名	製品媒体の製品名が表示されます。
製品形名	製品媒体の製品形名（媒体形名）が表示されます。
バージョン	製品媒体のバージョン番号が「VV-RR-SS」の形式で表示されます。
OS	製品媒体の対象 OS 名が表示されます。
リリース日	製品のリリース日が「YYYY/MM/DD」形式で表示されます。 日付はブラウザのタイムゾーンで表示されます。
製品媒体	製品媒体のファイル名が表示されます。 ファイル名のリンクをクリックすると、ファイルをダウンロードできます。
製品媒体のサイズ	製品媒体のファイルのサイズが「KB/MB/GB」の形式で表示されます。
ドキュメント	製品媒体に付属するドキュメントのファイル名が表示されます。 ファイル名のリンクをクリックすると、ファイルをダウンロードできます。
ドキュメントのサイズ	製品に付属するドキュメントのサイズが「KB/MB/GB」の形式で表示されます。

フィルターに条件を設定すると、一覧の絞り込み検索ができます。

4.3.6 マニュアル一覧の表示

サービスの利用者が利用できるサービスに関連する製品マニュアル、取扱説明書、利用ガイドなどのマニュアルドキュメントが表示されます。

[ファイル] – [マニュアル一覧] から、マニュアル名称をクリックするとダウンロードできます。



マニュアル一覧画面に表示する項目と説明を次に示します。

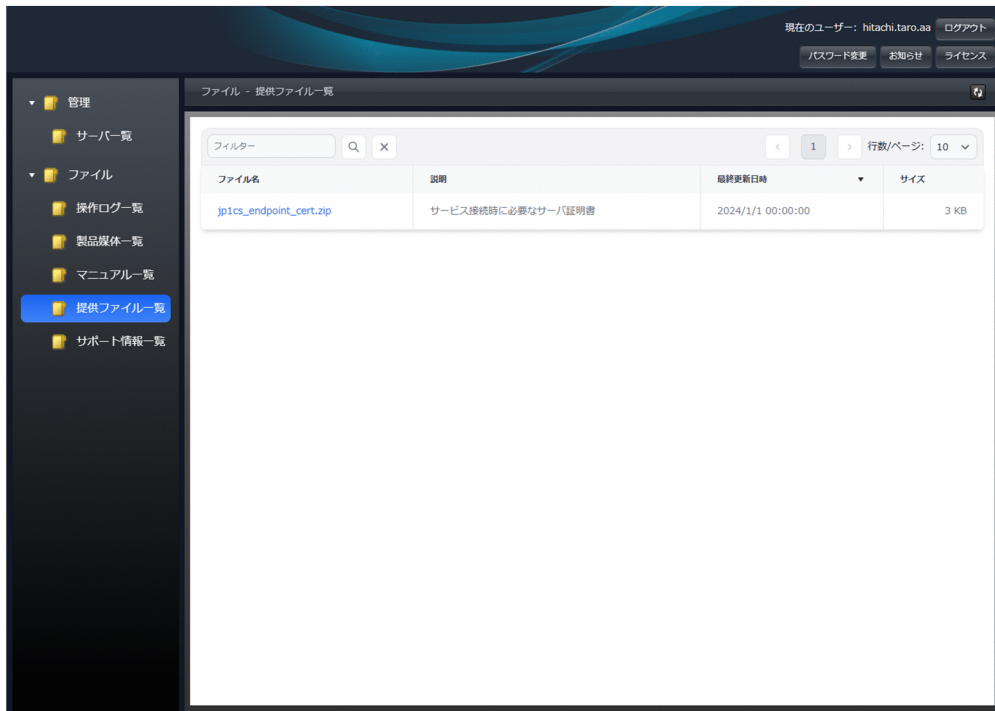
項目	説明
マニュアル名称	マニュアル名が表示されます。 ファイル名のリンクをクリックすると、ファイルをダウンロードできます。
資料番号	マニュアルの資料番号が表示されます。
サイズ	マニュアルのファイルサイズが「KB/MB/GB」の形式で表示されます。

フィルターに条件を設定すると、一覧の絞り込み検索ができます。

4.3.7 提供ファイル一覧の表示

サービスの利用者が利用できるサービスに関連する設定ファイルやツールなどのファイルが一覧で表示されます。

[ファイル] – [提供ファイル一覧] から、ファイル名をクリックするとダウンロードできます。



提供ファイル一覧画面に表示する項目と説明を次に示します。

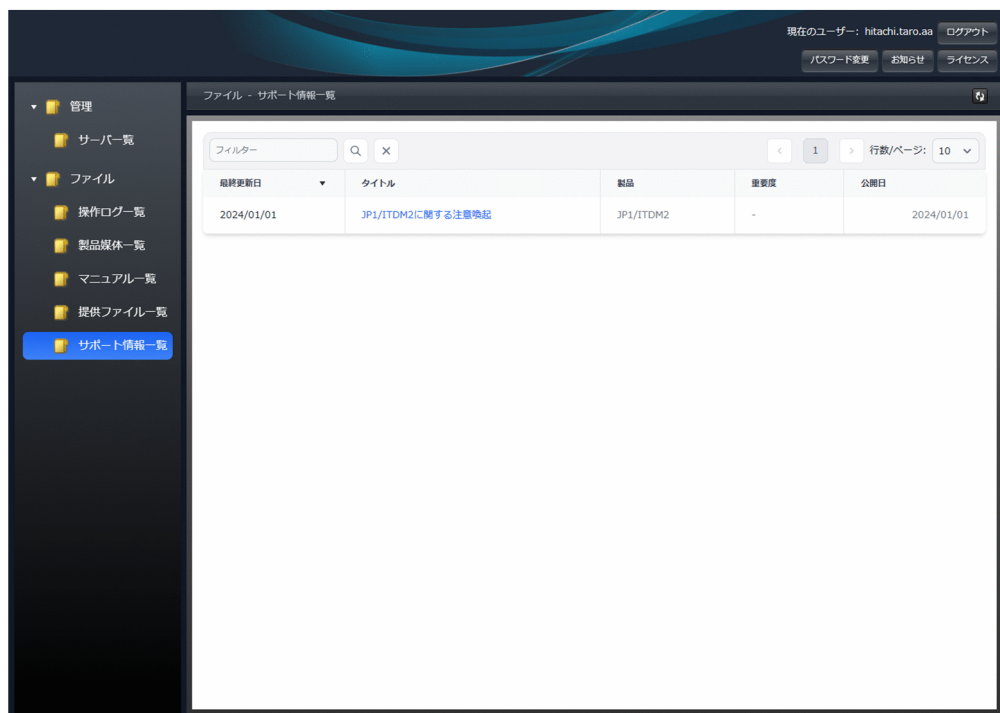
項目	説明
ファイル名	ファイル名が表示されます。 ファイル名のリンクをクリックすると、ファイルをダウンロードできます。
説明	提供ファイルの説明が表示されます。
最終更新日時	提供ファイルの最終更新日時（リリースの日時）を「YYYY/MM/DD hh:mm:ss」形式で表示されます。
サイズ	提供ファイルサイズが「KB/MB/GB」の形式で表示されます。

フィルターに条件を設定すると、一覧の絞り込み検索ができます。

4.3.8 サポート情報一覧の表示

サービスの障害回避・予防に関する情報や注意喚起情報などのサポート情報が一覧で表示されます。

[サポート] - [サポート情報一覧] から、ファイル名をクリックすると当該サポート情報のファイルをダウンロードできます。



サポート情報一覧画面に表示する項目と説明を次に示します。

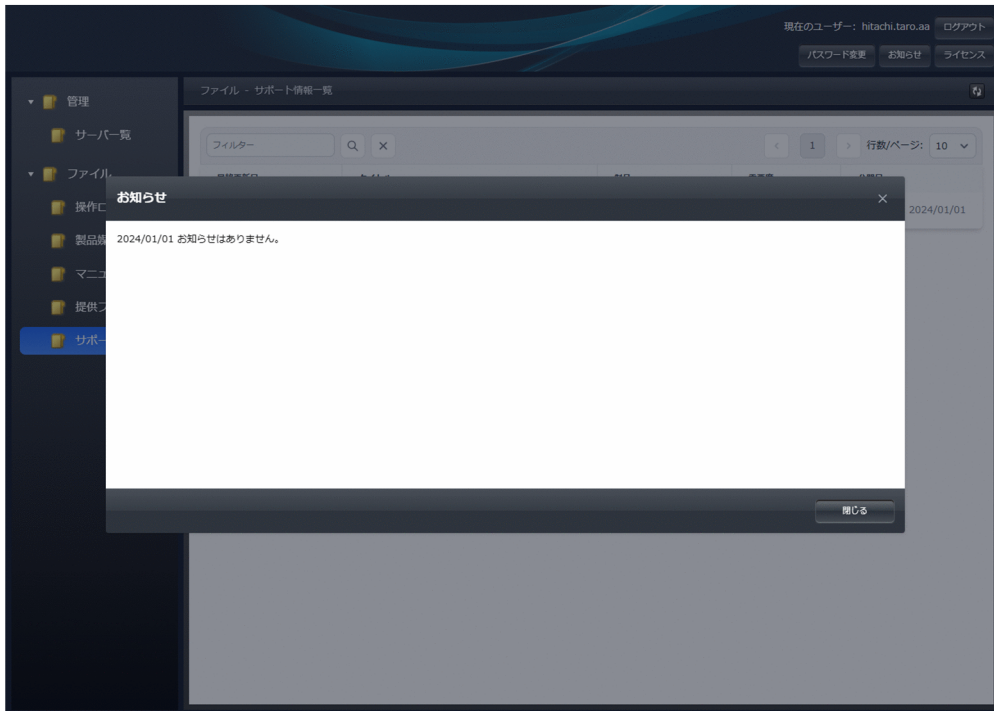
項目	説明
最終更新日	サポート情報の最終更新日が「YYYY/MM/DD」形式で表示されます。日付はブラウザのタイムゾーンで表示されます。
タイトル	サポート情報のタイトルが表示されます。 タイトルのリンクをクリックすると、当該サポート情報のファイルをダウンロードできます。
製品	サポート情報の対象製品が表示されます。
重要度	サポート情報の重要度が次のどれかで表示されます。 <ul style="list-style-type: none"> • AAA 発生頻度が高く、業務システムの運用が停止する。 • AA 業務システムの運用が停止する可能性がある。 • A 業務システムの運用が停止する可能性は低い。 • B 業務システムの運用に与える影響が少ない。 • C 業務システムの運用に与える影響はほとんどない。 • - 特になし（予防保守情報や使用時の注意事項など）
公開日	サポート情報が最初に公開された日が「YYYY/MM/DD」形式で表示されます。日付はブラウザのタイムゾーンで表示されます。

フィルターに条件を設定すると、一覧の絞り込み検索ができます。

4.3.9 お知らせの表示

システムメンテナンスによるサービス停止など、サービス提供元からのお知らせを表示できます。

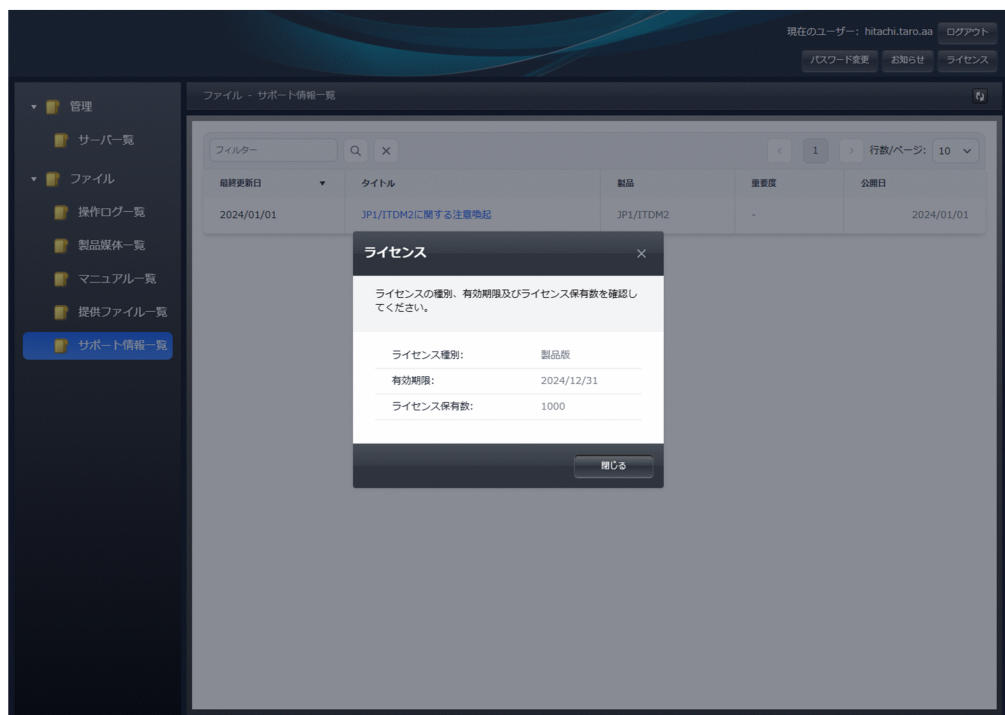
お知らせ画面は、メイン画面右上の［お知らせ］ボタンをクリックすると表示されます。



4.3.10 ライセンス情報の表示

運用管理者は契約しているライセンスの情報を確認することができます。

ライセンス情報画面は、メイン画面右上の［ライセンス］ボタンをクリックすると表示されます。



ライセンス情報画面に表示する項目と説明を次に示します。

項目	説明
ライセンス種別	ライセンスの種別が次のどちらかで表示されます。 製品版 契約しているライセンスが製品版（正規版）であることを示します。 評価版 契約しているライセンスが評価版であることを示します。
有効期限	当該ライセンスでサービスを利用できる有効期限（利用終了日）が「YYYY/MM/DD」形式で表示されます。 日付はブラウザのタイムゾーンで表示されます。
ライセンス保有数	ライセンスで管理できるクライアントの上限数が表示されます。

付録

付録 A このマニュアルの参考情報

付録 A.1 製品名の表記

このマニュアルでは、製品名称を次のように表記します。

表記		正式名称
JP1/ITDM2	JP1/IT Desktop Management 2	JP1/IT Desktop Management 2 - Manager
Mac	Mac OS	OS X 10.10
		OS X 10.11
		macOS 10.12
		macOS 10.13
		macOS 10.14
		macOS 10.15
		macOS 11
		macOS 12
		macOS 13
UNIX	AIX	AIX V6.1
		AIX V7.1
		AIX V7.2
		AIX V7.3
	HP-UX	
	HP-UX 11i V3(IPF)	
	Linux	Red Hat Enterprise Linux Server
		Red Hat Enterprise Linux(R) Server 8
		Red Hat Enterprise Linux(R) Server 9
		Oracle Linux
		Oracle Linux(R) Operating System 8
		Oracle Linux(R) Operating System 9
	Solaris	Solaris 10 (SPARC)
		Solaris 11 (SPARC)

付録 A.2 Windows 版と UNIX 版との差異

UNIX 版と Windows 版では一部の用語が異なります。

UNIX 版の用語	Windows 版の用語
組み込み※	インストール
資源登録システム	パッケージ
パッケージ配布（ソフトウェア配布）	リモートインストール
ファイル収集	リモートコレクト

注※

UNIX では、インストールからセットアップまでを「組み込み」と称します。

(英字)

JP1/ITDM2 (中継マネージャ)

JP1/IT Desktop Management 2 - Manager を管理用中継サーバとして構築されたサーバです。部門やネットワーク構成ごとに JP1/IT Desktop Management 2 を運用したい場合に設置します。また、中継システムと同様、リモートインストールマネージャを使用した配布でジョブの実行やパッケージの配布でネットワークに掛かる負荷を軽減できます。

JP1/ITDM2 (統括マネージャ)

JP1/IT Desktop Management 2 - Manager のサーバのうち、複数サーバ構成の最上位に設置されたサーバです。

(ア行)

インストールセット

JP1/IT Desktop Management 2 - Agent のインストールとセットアップを一度に実行できる、エージェントの導入を支援するプログラムです。JP1/IT Desktop Management 2 の管理画面で作成します。

運用管理コンピュータ

サービスの利用者が、エンドポイント管理のポータルシステムにログインするコンピュータです。

エージェント

JP1/IT Desktop Management 2 で管理される側のコンピュータにインストールするプログラムです。JP1/IT Desktop Management 2 - Manager に情報を通知したり、JP1/IT Desktop Management 2 - Manager からの指示でコンピュータを制御したりします。プログラム名は「JP1/IT Desktop Management 2 - Agent」です。

エージェント設定

JP1/IT Desktop Management 2 の管理画面で管理する、エージェントのセットアップの設定内容です。JP1/IT Desktop Management 2 の管理画面でエージェント設定を作成し、エージェントに割り当てることで、エージェントのセットアップをリモートで変更できます。

(力行)

管理対象機器

エージェントがインストールされているかどうかに関係なく、JP1/IT Desktop Management 2 の管理対象に設定した機器を指します。

機器一覧

コンピュータや周辺機器を含めた、IT 機器の一覧を指します。JP1/IT Desktop Management 2 で作成できます。

(タ行)

中継システム

管理用サーバと管理対象のコンピュータの間で、リモートインストールやファイル転送などのジョブを中継する JP1/IT Desktop Management 2 - Agent のことです。

(ハ行)

パッケージ

リモートインストールマネージャを使用して配布するソフトウェアの単位です。パッケージでパッケージを作成すると、JP1/IT Desktop Management 2 - Manager のキャビネットに保管されます。保管されたパッケージは、リモートインストールマネージャで配布できます。

パッケージャ

リモートインストールするソフトウェアを、管理用サーバに登録するプログラムです。

付録 C 各バージョンの変更内容

付録 C.1 02-20 の変更内容

02-10 向けマニュアルから 02-20 向けマニュアルでの変更点を次に示します。

- エンドポイント管理に暗号化オプションを追加したことに伴い、暗号化機能とファイル保護機能についての記述を追加しました。

索引

J

- JP1/ITDM2（中継マネージャ）〔用語解説〕 56
- JP1/ITDM2（統括マネージャ）〔用語解説〕 56

あ

- 暗号化機能 35

い

- インストールセットの作成 22
- インストールセット〔用語解説〕 56

う

- 運用管理コンピュータの構築 19
- 運用管理コンピュータ〔用語解説〕 56

え

- エージェント設定〔用語解説〕 56
- エージェントのインストール
 - UNIX または Mac の場合 22
 - Windows の場合 22
- エージェント〔用語解説〕 56
- エンドポイント管理の概要 9
- エンドポイント管理の機能 12
- エンドポイント管理の特長 10
- エンドポイント管理のポータルシステムの利用方法 37
- エンドポイント管理の利用方法 26
- エンドポイント管理への接続 14
- エンドポイント管理利用の準備 14
- エンドポイント管理を利用するための構築 15

か

- 管理対象機器〔用語解説〕 57

き

- 機器一覧〔用語解説〕 57
- 機器の管理 28
- 機器のネットワーク接続の管理 30

- 機器のリモートコントロール 29

こ

- 構築の流れ 16
 - 運用管理コンピュータの構築の流れ 16
 - ファイルサーバの構築の流れ 17
 - 利用者コンピュータの構築の流れ 17

し

- 資産の管理 31
- システム構成 11
- システムの概況把握 27

せ

- セキュリティの管理 32

そ

- 操作ログの管理 33

ち

- 中継システム〔用語解説〕 57

て

- 提供機能 12

は

- パッケージのインストール 19
- パッケージ〔用語解説〕 57
- パッケージ〔用語解説〕 57

ひ

- 秘文インストール媒体の作成 22
- 秘文管理ツールのインストール 20
- 秘文クライアントのインストール 22

ふ

- ファイルサーバのインストール 24
- ファイルサーバの構築 24

ファイルサーバの設定 25

ファイル保護機能 36

ほ

ポータルシステムの概要 38

ポータルシステムの利用方法

お知らせの表示 51

サーバー一覧の表示 43

サポート情報一覧の表示 49

製品媒体一覧の表示 46

操作ログの表示 45

提供ファイル一覧の表示 48

マニュアル一覧の表示 48

ライセンス情報の表示 51

ログインとログアウト 40

ログインユーザーのパスワード変更 42

ポリシーの反映 34

り

リモートインストールマネージャのインストール 19

利用者コンピュータの構築 21

利用できる Web ブラウザ 39

 株式会社 日立製作所

〒100-8280 東京都千代田区丸の内一丁目6番6号
